

令和 5年7月24日
西部農林水産振興センター 県央事務所 邑智農業部

標 題	「就農して、パソコン農業簿記ソフトを買ったけど使ってない…」人、 集まれ！
-----	--

(ダイジェスト)

7月12日、川本合庁会議室で「やるっきゃない！パソコン農業簿記」研修会を開催したところ、昨年4月以降の就農者9名が参加し、「明日からは、記帳から決算までできるようになる」ことを目標に、一日で6時間半の受講と演習を行いました。

参加者は、「やるっきゃない！」と、決算書を作る工程を重ねて演習しました。

消費税計算や本年10月からのインボイス制度への対応など、農業経営管理もパソコン簿記ソフトの利用が不可欠となっていますが、記帳を開始するには、「最初、何から始めれば良いか分からない」という大きな課題があります。

そこで、このハードルを越え、明日からパソコン農業簿記が始められるよう、関係機関と一緒に標記研修会を開催しました。

経営指導担当の普及OBを講師に迎えて、「①最低限度の複式簿記用語を憶える」、「②農業専用口座を作る」、「③家族で経営データの共有を行う」、④「明日から農業簿記ソフトの入力を始める」などのポイントが具体的事例で示され、理解が進んだようでした。

演習は、極力取引数を減らして2回の決算工程を反復する作業を行い、2回目は1回目の半分の時間で済み、「大変なのは最初だけなんだ！」、「農業簿記ソフトを何度も使って慣れるしかない」と認識されるなどアンケート結果からも確認できました。

今後は、当農業部で分担して個別指導を行い、決算まで「正確で、確実で、役に立つ、楽しい農業経営管理」ができるよう努めます。

